

しまねの土地改良だより

2024年（令和6年）1月1日発行（Vol.140） 水土里ネット島根会報

新年のご挨拶

財務大臣政務官／参議院議員 進藤 金日子

新年、明けましておめでとうございます。島根県土地改良事業団体連合会の会員の皆様には、旧年中大変お世話になりました。昨年末、財務大臣政務官を拝命いたしました。本年も現場主義、地域主義に徹し、国家の発展と農業農村の振興のため全力を尽くしてまいります。本年もよろしくお願い致します。

土地改良予算については、昨年11月に成立した令和5年度補正予算で1,777億円が措置され、令和6年度当初予算政府原案の4,463億円と合わせて6,240億円となり、令和5年度予算よりも106億円上回る予算を確保しました。この予算額で各地域において必要な事業を計画どおりに実施可能かどうか、現場の実情をしっかりと精査していく必要があると考えています。

さて、今年の農政における大きな課題は、食料・農業・農村基本法の改正です。政府が昨年6月に決定した「食料・農業・農村政策の新たな展開方向」の具体的な施策の内容について、自民党では昨年9月から「農業基本政策」、「農地政策」、「食料産業政策」の3つの検討分科会を設置し、私も参画して議論を重ね、昨年末には、検討結果を取りまとめ岸田総理へ提言を行いました。

「食料安全保障の抜本的な強化」、「環境と調和のとれた産業への転換」、「人口減少下における生産水準の維持・発展、地域コミュニティの維持」の観点から構成されており、生産基盤の維持につながる農地の確保、農業生産基盤整備と保全の推進、人材の育成と確保等、今後進めるべき主要施策を具体的に提言しています。

私は、従来から我が国の食料供給力（食料自給力）の強化に当たっては、①農地・農業用水等の農業資源の機能の維持・向上を図る土地改良対策、②農業者を確保・育成する担い手対策、③農業技術の向上を図る試験・研究、普及・生産対策を別々でなくパッケージで早急に実施することが必要と訴えています。

「食料自給力」の最も基礎的なものが「農地・水等の農業資源」であり、農業者の激減が見込まれる中で農地と水の持っている機能を維持・増進する土地改良はこれまでも増して重要となります。私は、本年も土地改良予算の安定的な確保に努め、法律の整備や制度の拡充等土地改良事業の環境整備を行い、農業農村の振興に向けて更に邁進してまいります。皆様からのご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、また、貴連合会のご発展とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶といたします。



■ 新年のご挨拶 進藤金日子参議院議員	1
■ 新年のご挨拶 宮崎雅夫参議院議員	2
■ 農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム	3
■ 人権啓発研修会を開催	4
■ 1月の主な予定	4

新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問／参議院議員 宮崎 雅夫

輝かしい初春を迎え、鳥根県土地改良事業団体連合会ならびに会員機関、関係の皆様方へ謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様方におかれましては、日頃より地域の重要な資源である水と土を守り、地域農業の発展や農山村の活性化に向け、土地改良事業の円滑な推進、土地改良施設等の適切な管理にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表しますとともに、私の国政活動に多大なるご支援とご指導を賜っておりますことに衷心より感謝申し上げます。



さて、昨今の激甚化、頻発化する自然災害は、昨年も線状降水帯の発生や梅雨前線の停滞、台風の連続発生などにより、全国各地で風害、洪水、土砂災害等の被害をもたらしました。また、夏場の高温被害や、渇水による水源の枯渇など農業用水の安定供給にも影響を及ぼしています。被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げますとともに、早期の復旧・復興に皆様とともに力を合わせて対応してまいりたいと考えております。

私も皆様方からのご要望等に対して、それぞれの地域事情に即した解決等に向け、全力で対応させていただきました。こうしたご要請を含め、昨年11月に成立した令和5年度補正予算では、農林水産関係で総額8,182億円、このうち、土地改良関係については、昨年度の第二次補正予算から100億円アップの1,777億円（食料安全保障強化対策160億円、総合的なTPP等関連対策760億円、防災・減災、国土強靱化857億円）を確保できました。また、令和6年度当初予算については、前年を上回る4,463億円が閣議決定され、補正と合わせた総額6,240億円となっております。これから行われる通常国会において、参議院予算委員会の理事として、早期成立に向け努力してまいります。

また、通常国会では、「農政の憲法」と言われる食料・農業・農村基本法を四半世紀ぶりに改正する予定となっておりますが、国内農産物の生産を支える農地や水利施設等の整備・維持という重要な役割を土地改良が担っており、農業従事者数の減少傾向に対応するスマート農業の取組推進や農業農村関係人口の拡大などを含め、適切に施設の保全管理が図られるようしっかりと土地改良区の運営基盤の強化を推進していくことが重要です。

私も、引き続き「食・土地改良・農山漁村は未来への礎」を理念に初心に立ち返り、現場や地域の課題をしっかりと伺いし、皆様のお声を国政に届け、必要な予算の確保や現場の実情に即した制度の充実に向け、誠心誠意努力してまいります決意ですので、引き続きご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、鳥根県土地改良事業団体連合会ならびに会員各位、関係機関の益々のご発展と皆様のご健勝を心より祈念申しあげまして私の新年の挨拶とさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム

令和5年12月6日（水）～7日（木）、「農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム」が東京都の砂防会館で開催されました。全国から、多面的機能支払交付金（以下、「多面支払」という。）の活動組織や推進組織、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者をはじめとして、オンラインの参加も含め総勢800名近くが参加しました。本会からは、講師として2名が出席しました。



人口減少が進む中、農業・農村の持続性確保のため、農地・農業用水等の地域資源の保全を図る多面支払による活動は継続的に実施される必要があります。シンポジウムでは、外部人材や多様な主体との連携を通じて、地域コミュニティの強化や人材育成を図っている事例等について情報共有を行い、多面支払による活動の促進や活動組織の体制強化につなげてもらおうと、6つの講演とパネルディスカッションが行われました。

全国土地改良事業団体連合会の室本専務理事の開会挨拶に始まり、続いて農林水産省農村振興局農地資源課の荻野課長が来賓挨拶を述べられました。その後講演に移り、まず、山形県農村づくりプロデューサーの高橋信博氏が、地域住民の心に「やる気」という火を灯し、地域が動き出すためのポイントと、それを支援するプロデューサーの取組について講演されました。次に、石川県の鉦打（なたうち）ふるさとづくり協議会の村田正明氏が、ほ場整備を契機として、様々な人々が参画した地域づくりを進め、米のブランド化や買い物支援など多角的な取組を実施している事例紹介がありました。続いて、宮城県大崎市の安部祐輝氏が、世界農業遺産「大崎耕土」の資源を守り活かす取組や、環境に配慮した持続可能な農業生産と多様な地域づくりについて講演されました。

本会からは、1日目の最後の講演として事務支援システムによる事務処理の効率化と事業の推進について紹介しました。平成26年度から運用している多面支払事務支援システム「助さん」「確さん」に加えて、令和5年度から運用を開始した中山間地域等直接支払交付金事務支援システム「てごする」について、システムの説明に加え、本会が実施しているシステム活用のための対話型のサポート体制についても紹介し、参加者からは大変ご好評をいただきました。

2日目は、沖縄県糸満市の崎原栄志氏と玉城佑一氏が小学校や大学との連携による多面支払の活動取組状況や経緯などを紹介されました。次に、群馬県的美野原広域協定と県立吾妻中央高校教員の松井克彦氏と生徒たちから、連携して地域資源の保全活動を実施している取組についてのご紹介がありました。その後パネルディスカッションへ移り、コーディネーターを明治大学客員教授でジャーナリストの榊田みどり氏が務め、松井克彦氏、玉城佑一氏、日本グランドワーク協会理事長の中里良一氏、農林水産省農村振興局整備部農地資源課多面的機能支払推進室長の栗田徹氏の4名をパネラーとして、農業・農村を次世代に引き継いでいくために多面的機能支払の活動組織と連携する教育機関へ期待される役割について議論しました。議論の中では、教育機関と連携する際の苦労した点や、注意する点などを話し合い、連携したくても迷っている方々はまず最寄りの行政担当者へ声を上げて欲しい、そして、保全活動へ協力してもらうためには、作業ばかりではなく地域の祭りなどの企画・立案といったイベント仕事も織り交ぜると良い、といったアドバイスがあり、大変有意義なシンポジウムとなりました。

総会関係（令和6年2月5日）全体日程

令和6年2月5日（金）の日程は次のとおりです

島根県農地・水・環境保全協議会理事会：11時30分～
 島根県農地・水・環境保全協議会総会：13時00分～
 令和5年度土地改良功労者表彰式：13時30分～
 島根県土連第66回通常総会：14時25分～
 島根県農業農村整備推進協議会総会：15時30分～

※農業農村整備事業等に関する説明会
 第1部14時30分～、第2部16時10分～ 並行して開催されます

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

島根県土地改良事業団体連合会

会 長	楫野弘和	理 事	嘉戸隆	理 事	中尾祥子
副会長	田中武夫	理 事	久保田章市	代表監事	山本浩章
専務理事	渡部明孝	理 事	岩本一巳	監 事	秋田勝秀
常務理事	高橋裕司	理 事	池田高世偉	監 事	福田克則
理 事	塚原隆昭	理 事	加藤滋夫		
理 事	飯塚俊之	理 事	豊田知世		外職員一同

1月の主な予定

開催日	行 事 等	開催地
1月29日（月）	県土連第3回役員会	県土連
1月30日（火）	令和5年度多面的機能支払中国四国シンポジウムin広島	広島市



みどり
「水」「土」「里」
 の未来を創造し働きます

「水」……農業用水や地域用水
 「土」……土地や農地
 「里」……農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
 ホームページ<https://www.shimanedoren.or.jp/> メールsmndoren@shimanedoren.or.jp